

(参考資料)

① 事業セグメント別の営業損益見通し

(単位：億円)

	平成20年度 実績		平成21年度 見通し	
	上期	年度	上期	年度
鉄鋼事業	2,510	4,250	△ 600	500
エンジニアリング事業	△ 35	46	△ 10	90
造船事業	△ 75	△ 152	65	130
都市開発事業	△ 28	△ 36	△ 15	△ 20
L S I 事業	0	△ 40	0	△ 10
消去又は全社	3	9	60	110
営業利益	2,376	4,078	△ 500	800

② 粗鋼生産量 (JFEスチール)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度 (単独)	771	778	1,549	648	458	1,106	2,655
(連結)	870	858	1,728	703	497	1,200	2,928
平成21年度 (単独)		見込み					
(連結)	512	650	1,162				
	572	710	1,282				

③ 鋼材出荷量 (JFEスチール, 単独ベース)

(単位：万 t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	692	722	1,414	602	490	1,092	2,506
平成21年度		見込み					
	434	600	1,034				

④ 鋼材輸出比率 (JFEスチール, 単独・金額ベース)

(単位：%)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	41.6	44.9	43.4	39.2	39.7	39.4	41.6
平成21年度		見込み					
	42.3	48	45				

⑤ 為替レート

(単位：円/ドル)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	103.4	108.0	105.7	99.2	92.8	96.0	100.8
平成21年度		見込み					
	97.5	95	96				

平成21年度見通しは下期95円/ドルで策定

⑥ 鋼材平均価格 (JFEスチール, 単独ベース)

(単位：千円/t)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
平成20年度	87.6	109.1	98.5	108.8	97.7	103.8	100.8
平成21年度		見込み					
	75.8	68	71				

⑦ エンジニアリング事業の受注状況（セグメント間の取引を含む）

平成21年度受注見込み 3,000億円（前年度比 △8.6%）

⑧ 造船事業の受注状況（セグメント間の取引を含む）

平成21年度受注見込み 1,000億円（前年度比 △1.9%）

⑨ 借入金社債等残高および支払金利、現金及び預金残高（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	借入金社債等残高	支払金利	現金及び預金残高
	年度末	年度	
平成20年度実績	17,687	△225	2,179
平成21年度見通し	15,200程度	△210程度	400程度

⑩ 設備投資と減価償却費（JFEホールディングス、連結ベース、単位：億円）

	平成20年度実績	平成21年度見通し	
設備投資額	2,895	2,000程度	（工事ベース）
減価償却費	2,477	2,500程度	

⑪ 経常利益の増減内容（平成21年度通期見通し、対平成20年度実績比較）

a. 鉄鋼事業 △3,925億円（4,125億円→200億円）

（内容）コスト削減 + 1,200

原料関連 + 2,900

数量、価格 △ 6,200

棚卸資産評価差 △ 1,200

その他 △ 625

b. エンジニアリング事業 △ 19億円（99億円→80億円）

（内容）固定費削減を中心に引き続き収益改善に努めるものの、依然として厳しい事業環境が続くと見込んでおり、経常利益は80億円となる見込み。

c. 造船事業 + 279億円（△149億円→130億円）

（内容）生産性の向上や資機材のコストダウン等の更なる収益改善の推進による工事損失引当金の減少等により、前期149億円の経常損失から当期は130億円の経常利益となる見込み。

d. 都市開発事業 + 17億円（△37億円→△20億円）

（内容）分譲マンション市況の低迷は継続しており、売上は前期並みとなり、20億円の経常損失となる見込み。

e. LSI事業 + 27億円（△42億円→△15億円）

（内容）液晶パネル向け製品をはじめとした全般的な需要は弱いものの、事業構造改革の進捗も含めた固定費削減により、経常損失は15億円と、前期に比べ改善となる見込み。

以 上